

## 放課後子ども教室実地について考える

## 市長さんパネルディスカッションに参加

11月26日(水)、宝江ふれあいセンターで、宮城県教育委員会と共催し、「登米地区協働教育研修会兼登米市学社連携・融合研修会」を開催した。市内幼稚園・小学校・中学校教諭、PTA会員、公民館職員等82名の参加でした。

今回は、パネルディスカッションに布施市長さんにも参加頂き、社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域社会で育むために、地域と学校をつなぐ仕組みをつくり、家庭・地域と学校が協働した教育活動を展開することの重要性・有効性について理解を深める研修会でした。研修内容は次のとおりでした。

## 研修Ⅰ(講演)

【テーマ】「子どもと地域を育む協働教育」

～放課後子ども教室“めだかの学校”の実践紹介～

【講師】福島県田村市教育委員会社会教育主事吉田泰久氏

## 放課後子ども教室とは

すべての子どもを対象として、放課後等における、安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちのさまざまな活動を支援する取り組みです。



講師 吉田泰久氏

## 研修Ⅱ パネルディスカッション

【テーマ】「社会の中でたくましく生きる力を育む“子ども教室”」

【コーディネーター】

宮城県登米地域事務所教育班次長 菅原純一氏

## 【パネリスト】

登米市長	布施孝尚氏
登米市立東和中学校長	吉沢真介氏
北方子ども待機スペース事業 実行委員会代表	富士原輝子氏
登米市内学童クラブ代表	名生彰志氏
小学校保護者・PTA代表	高橋義彦氏
田村市教育委員会社会教育主事	吉田泰久氏



パネリスト左より、田村市教委 吉田泰久氏、市長 布施孝尚氏、東和中学校長 吉沢真介氏、北方子どもスペース実行委員 富士原輝子氏、学童クラブ代表 名生彰志氏、保護者代表 高橋義彦氏

## &lt;受講者の声&gt;

○ 学校関係者です。普段はどうしても自分の立場からのみ学童クラブを見ていました。今日の講演やパネルディスカッションを通して、放課後子ども対策事業についてよく理解できました。と同時に、課題も見えてきましたが…。

これからもさらに学童クラブと連絡を取り合い、子どもたちのためのより良い方向性を考えていきたいと思えます。

○ 「めだかの学校」とっても楽しそうです。地元にもあったならば、うちの子どもたちも喜んで参加しそうです。親としても参加させてあげたいような内容だと思います。PTAの保護者の方の参加が少ないのが残念でした。地域と子どもたちの関わりについて考えることができた研修会でした。

○ 大変ためになるお話でした。このような取り組みは設立までの課題が少なくないと思いますが、学社ともに諸課題を乗り越えていけるよう努力して行くことが大切です。このような話を現在設立されている放課後クラブ等の方々にも聞かせていただければと思います。



学社連携・融合研修会受講者